

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		1 年
科 目 名	ビジネス実務Ⅰ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介・キャリア
時 間 数	前期：41 時間／後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	・ 入学時から就職を意識し、「働く意味」を理解させ、自己分析を行っていく。 ・ 社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	前 期		
授 業 の 概 要	・ 学校行事に全力で取り組む。 ・ キャリアの授業を取り入れ、働く意味を知り、自己分析を行っていく。 ・ 社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。		
到 達 目 標	・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。		
成 績 評 価 方 法	前期試験（95％）、出欠席（5％）で評価		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	① ビジネスマナー基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター） ② 就職活動ワークブック（日本能率協会マネジメントセンター） ③ プリント・		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		1 年
科 目 名	情報リテラシー	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤
時 間 数	前期： 26 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	インターネットの普及により便利になった知識や技術だけでなく関連するトラブルや事件を学習することで、ネット社会で生きるために必要なスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた授業、インターネット社会の規範や規律を学ぶ。 【学生に期待すること】 ・実社会でのインターネット利用の操作や知識、その利便性について理解すること。 ・インターネットに関係するトラブルや事件を知り、自身を守る法律など理解すること。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	・ 情報と情報社会 ・ 個人情報と知的財産 ・ ネットにおけるコミュニケーションとマナー ・ 情報社会における生活 ・ 情報セキュリティとネット被害		
到 達 目 標			
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)		
テキスト・副読本	インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーカー 学科 1 年		
科 目 名	簿記会計	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	西岡 孝治
時 間 数	前期：81 時間 / 後期： 時間	実務経験：長年に渡り講師として各種学校で資格対策指導を行う。初歩から税理士レベルまでの内容を、実務や経験をもとに理解に導く。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日商簿記 3 級の合格を通じて、企業内部における会計の流れについてイメージをもつことができる。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	日本商工会議所主催 簿記検定 3 級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。 【学生に期待すること】 ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・貸借対照表、損益計算書の読み方を理解する。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	・ 簿記の基本原理 ・ 諸取引の処理について 現金預金、売掛金と買掛金、その他債権債務、手形、電子記録債権、電子記録債務、引当金、商品、有形固定資産 収益と費用、税金 ・ 決算 試算表の作成、精算表、決算整理 決算整理後の残高試算表 帳簿の締切り ・ 株式会社 資本金、剰余金の配当など		
到 達 目 標	日商簿記検 3 級 模擬試験で 70 点以上		
成 績 評 価 方 法	期末試験（60％）、確認テスト（20％）、授業態度（5％）、出欠席（5％）、提出物（10％）		
テキスト・副読本	合格テキスト日商簿記 3 級		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科			1 年
科 目 名	簿記演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	西岡 孝治	
時 間 数	前期： 66 時間 / 後期： 時間	実務経験：長年に渡り講師として各種学校で資格対策指導を行う。初歩から税理士レベルまでの内容を、実務や経験をもとに理解に導く。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日商簿記検定 3 級取得に向けた検定対策授業を行う。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格	日商簿記検定 3 級			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 グループ内における演習、過去問題に取り組み、得点を向上させる。 Web サイトと電子媒体を活用し、学生の取り組みの効果を高める。 【学生に期待すること】 ・ 検定取得に向けたモチベーションを保つ。 ・ 周囲と協力して取り組む姿勢を身に着ける。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	日商簿記検定 3 級の過去問題・模擬問題の実施 問題演習、解説			
到 達 目 標	日商簿記検定 3 級の取得			
成 績 評 価 方 法	確認テスト (50%)、課題提出 (30%)、日商簿記検定 3 級の得点 (20%)			
テキスト・副読本				

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		1 年
科 目 名	Excel 実習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 30 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 検定の全員取得をめざす。 Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist Excel 2019		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・ 実社会での Excel の役割について理解すること。 ・ Excel の利便性を理解すること。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	・ ワークシートやブックの作成と管理 ・ セルやセル範囲の作成 ・ テーブルの作成 ・ 数式や関数の適用 ・ グラフやオブジェクトの作成		
到 達 目 標	・ Microsoft Office Specialist Excel 2019 の取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験(75%)、提出物(20%)、出欠席(5%)		
テキスト・副読本	よくわかるマスターMOS Excel 2019 対策テキスト&問題集 改訂版		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科 1 年		
科 目 名	ビジネスリテラシー I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期：27 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	就職試験で頻出問題である SPI について、出題のパターン毎の代表的解答方法の知識 を取得するとともに、想定される試験時間内に正確に解答する能力の取得をめざす。		
目指す検定・資格	なし		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 テキストを用いた授業、問題演習・解答解説の確認。 【学生に期待すること】 SPIで出題される代表的なパターンについて、正確に解答を導くことができる。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	SPI 非言語分野について、練習問題を通じて、解き方について理解を深める。		
到 達 目 標	非言語分野の解き方について理解し、期末試験において 60%以上の正答率を出すこと ができる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本	2019 年度版 図解&書き込み式 ドリル式 SPI 問題集		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科			1 年
科 目 名	マーケティング I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介	
時 間 数	前期：16 時間 / 後期： 時間			
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	マーケティングの基礎知識を習得し、情報を扱う上での考え方を身につける。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格	公益社団法人 日本マーケティング協会主催 マーケティング検定 3 級			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成をする。 【学生に期待すること】 ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・実社会でのマーケティングの知識の活用事例を理解すること。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	マーケティング理論の基礎知識を習得する。 マーケティングの発想から各種戦略、消費者行動分析、製品戦略へとつなげ、市場の仕組みを理解する。			
到 達 目 標	・マーケティングの仕組みを理解し、社会の製品・サービスが売れる仕組みを説明することができる			
成 績 評 価 方 法	前期試験（50％）、確認テスト（40％）、出欠点（5％）、授業態度（5％）			
テキスト・副読本	ベーシック・マーケティング 第 2 版			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		1 年
科 目 名	PowerPoint 実習	科 目 区 分	一般科目・ <u>専門科目</u>
開 講 期	<u>前期</u> ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期： 30 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist の PowerPoint 2019 検定の全員取得をめざす。 PowerPoint の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist PowerPoint 2019		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる PowerPoint スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・ 実社会での PowerPoint の役割について理解すること。 ・ PowerPoint の利便性を理解すること。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	・ プレゼンテーションの作成と管理 ・ 図形やスライドの挿入と書式設定 ・ スライドコンテンツの作成 ・ 画面切り替えやアニメーションの適用 ・ 複数のプレゼンテーションの管理		
到 達 目 標	・ Microsoft Office Specialist PowerPoint 2019 の取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験(70%)、模擬試験 (MOS PowerPoint 2019) (20%)、出欠席(5%)、提出物(5%)		
テキスト・副読本	よくわかるマスター MOS PowerPoint 2019 対策テキスト&問題集 改訂版		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		1 年
科 目 名	ビジネス数学	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期：15 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ビジネスで求められるビジネス数学力（「把握力」、「分析力」、「選択力」、「予測力」、「表現力」）を高める。そして、ビジネスシーンに潜んでいる数字を見つけ出し、それらの関係性をしっかりと把握し、目的に応じてそれらを組み合わせる思考プロセスを身につけることを目的とする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	ビジネス数学検定3級の問題を通して、ビジネスで必要とされる、数字感覚を身につけるとともに、数字が持つ意味を理解できる。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	①把握力 ②分析力 ③選択力 ④予測力 ⑤表現力		
到 達 目 標	ビジネスで必要とされる、数字感覚を身につけることができる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、各単元の確認テスト(15%)、出欠席(5%)		
テキスト・副読本	「ビジネス数学検定 3 級」		

令和 6 年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケット 学科 1 年		
科 目 名	SDGs	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期：15 時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	持続可能な社会を世界レベルで実現するために、2015 年 9 月に国連で合意された世界共通の目標「SDGs」について、17 の目標（ゴール）の内容、諸外国のビジネスや投資との関係性、CSR との違い、人材育成の観点までを理解する。そして、私たち一人ひとりにどんな関わりがあるのかを考える。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 ・テキストを活用した事例研究 【学生に期待すること】 ・主体的なグループワークへの参加 ・当事者意識を持った取り組み		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	各国の特徴について調べ、SDGs の 17 の目標に関連付ける。そして、その状況にどのように向き合い、取り組んでいくのか考えて、スライドにまとめて発表をする。		
到 達 目 標	各国の特徴について、SDGs に関連付けて理解することができる。さらに、自分は何ができるかについて考えることができる。		
成 績 評 価 方 法	レポート提出（70%）、提出物（15%）、授業態度（10%）、出欠点（5%）		
テキスト・副読本	自分ごとからはじめよう SDGs 探究ワークブック		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科			1 年
科 目 名	データ分析 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介	
時 間 数	前期： 28 時間 / 後期：時間	実務経験：県内大手派遣会社にて、営業・人事担当として従事。採用における応募者傾向の分析から、社内データの傾向から採用方針を立案する。営業では、100 社にわたるクライアントの傾向から効果的な提案活動を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	データマーケター育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。 【学生に期待すること】 ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	・ 基本的なマーケティング ・ データの扱い方			
到 達 目 標	・ データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになる。			
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)			
テキスト・副読本	ビッグデータマーケティング教育推進協会 テキスト			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		1 年
科 目 名	ビジネス実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介・キャリア
時 間 数	前期： 時間／後期：72 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	・ 自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・ 社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。お		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	前 期		
授 業 の 概 要	・ 2回の就職対策に向け、自己分析、履歴書作成、業界分析を行う。 ・ 社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。		
到 達 目 標	・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。		
成 績 評 価 方 法	前期試験（95%）、出欠席（5%）で評価		
テキスト・副読本	① ビジネスマナー基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター） ② 就職活動ワークブック（日本能率協会マネジメントセンター） ③ プリント・		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科			1 年
科 目 名	データ分析Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：46 時間	実務経験：県内大手派遣会社にて、営業・人事担当として従事。採用における応募者傾向の分析から、社内データの傾向から採用方針を立案する。営業では、100 社にわたるクライアントの傾向から効果的な提案活動を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	データマーケター育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。 【学生に期待すること】 ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	・ 基本的なマーケティング ・ データの扱い方			
到 達 目 標	・ データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになる。			
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)			
テキスト・副読本	ビッグデータマーケティング教育推進協会 テキスト			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科 1 年		
科 目 名	Excel 実習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 69 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 検定の全員取得をめざす。 Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist Excel 2019		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・ 実社会での Excel の役割について理解すること。 ・ Excel の利便性を理解すること。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	・ 高度な機能を使用した数式の作成 ・ 高度な機能を使用したグラフやピボットテーブルの作成 ・ ユーザ設定の書式やレイアウトの適用 ・ ブックの管理と共有		
到 達 目 標	・ Microsoft Office Specialist Excel 2019 の取得		
成 績 評 価 方 法	期末試験(70%)、模擬試験 (MOS Excel 2019) (20%)、提出物(5%)、出欠席(5%)		
テキスト・副読本	よくわかるマスター MOS Excel 2019 対策テキスト&問題集		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		1 年
科 目 名	ビジネスリテラシーⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 20 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	就職試験で頻出問題である SPI について、出題のパターン毎の代表的解答方法の知識を取得するとともに、想定される試験時間内に正確に解答する能力の取得をめざす。		
目指す検定・資格	なし		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 テキストを用いた授業、問題演習・解答解説の確認。 【学生に期待すること】 SPIで出題される代表的なパターンについて、正確に解答を導くことができる。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	・ SPI 言語分野		
到 達 目 標	・ 期末試験 正答率 60%以上		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (80%)、確認テスト (15%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本	2019 年度版 図解&書き込み式 ドリル式 SPI 問題集		

令和 6 年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科 1 年		
科 目 名	Word 実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期：時間 / 後期 32 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist の Word 2019 検定の全員取得をめざす。 Word の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	Microsoft Office Specialist Word 2019		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Word スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・ 実社会での Word の役割について理解すること。 ・ Word の利便性を理解すること。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	・ 文書の作成と管理 ・ 文字、段落、セクションの書式設定 ・ 表やリストの作成 ・ 参考資料の適用 ・ オブジェクトの挿入と書式設定		
到 達 目 標	・ Microsoft Office Specialist Word 2019 の取得		
成 績 評 価 方 法	・ 期末試験(80%)、提出物(15%)、出欠席(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	よくわかるマスター MOS Word 2019 対策テキスト&問題集		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科 1 年		
科 目 名	マーケティングⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期：時間 / 後期：24 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	マーケティングの基礎知識を習得し、情報を扱う上での考え方を身に着ける。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	公益社団法人 日本マーケティング協会主催 マーケティング検定 3 級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。 【学生に期待すること】 ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・実社会でのマーケティングの知識の活用事例を理解すること。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	ブランド戦略、価格戦略、コミュニケーション戦略と各種戦略について発展的に学習し、SNS マーケティング等の近代的な戦略についても理解する。		
到 達 目 標	・マーケティングの仕組みを理解し、社会の製品・サービスが売れる仕組みを説明することができる		
成 績 評 価 方 法	期末試験（50％）、確認テスト（40％）、出欠席（5％）、授業態度（5％）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ベーシック・マーケティング		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		1 年
科 目 名	キャリア実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 80 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	企業等で、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。 また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	・実習開始前に学内で事前指導を行う。実習の目標設定、個人情報の取扱いや守秘義務、心得やマナーについて理解する。 ・実習中、定期的に教員に報告をし、必要に応じて指導や支援を行い、より効果的な実習に繋げる。 ・実習終了後、個人で振り返りを行う。さらに、実習成果報告会を行い、実習を通して得たこと、学んだことを受け入れ先企業の担当者に向けて発表をする。		
そ の 他			
	後期		
授 業 の 概 要	めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。		
到 達 目 標	・実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができる。 ・実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができる。		
成 績 評 価 方 法	実習評価表（85%）、成果報告書（10%）、出欠席（5%）		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科			1 年
科 目 名	プレゼンテーション実習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：35 時間			
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	目的に合わせたプレゼンテーションの作成。 プレゼンテーション作成における基礎的な考えかたを理解する。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	プレゼンテーション原稿作り パワーポイントの作成技術の習得 プレゼンテーションの体験学習			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	プレゼンテーションの技術習得			
到 達 目 標	クラス内発表で一定レベル以上技術取得			
成 績 評 価 方 法	提出物（60%）、実習に伴う相互評価（30%）、出席点（5%）、授業態度（5%）			
テキスト・副読本	MOS PowerPoint 2019			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科 1 年		
科 目 名	ビジネスプランニング I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期：時間 / 後期： 26 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作る。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 様々な事例を紹介しながら、学生のアイデアを引き出す 【学生に期待すること】 ・ 自由な発想でアイデアを出す ・ グループで一体となって、取り組む。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	ビジネスプランコンテストへの応募を通じて、アイデアの創出、相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行う。		
到 達 目 標	・ ビジネスプランコンテストへの応募		
成 績 評 価 方 法	提出物（90%）、出欠点（5%）、授業態度（5%）		
テキスト・副読本	ビジネスモデル 2.0 図鑑		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		1 年
科 目 名	マーケットリサーチ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	企業や仕事について理解するために、業界や職種について情報収集をする。そして、就職活動に向けて、職業選択をするための基礎知識として役立てる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 ビジネスの成り立ちと企業活動について仕組みを講義する。そして、グループごとに、産業・業界の動向、職種の特徴はどういうものなのか調べて、クラス内で共有していくために、プレゼン資料を作成させる。 【学生に期待すること】 業界や職種についての理解を深め、将来の自分の働き方について考える機会にする。また、情報収集を通して、探究する重要性に気付くことができることを期待する。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	①ビジネスの成り立ちと企業活動について ②業界研究 ③職種研究		
到 達 目 標	様々な業界や職種についての理解を深め、自分の働き方について考えることができる。		
成 績 評 価 方 法	プレゼン発表（相互評価）（70%）、レポート提出（25%）、出欠席（5%）		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科			1 年
科 目 名	データ分析演習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治	
時 間 数	前期：時間 / 後期：58 時間			
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Excel を使ったデータ分析の方法を行えるようになる。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析ベーシック			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。 【学生に期待すること】 ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	・ 基本的なマーケティング ・ データの扱い方			
到 達 目 標	データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになる。			
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)			
テキスト・副読本	ビッグデータマーケティング教育推進協会 テキスト			